

自治体
の紹介

基本データ

人口：6,398人（令和5年12月末時点）

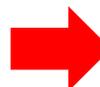
作物：米、アスパラガス、米沢牛（約4割生産）

- ・山形県の南西部に位置し、総面積の8割以上が山林を占める緑豊かな農村地域
- ・「日本で最も美しい村」連合に加盟



背景

- ・町が初めて誘致した企業が平成24年に撤退 →200名もの**雇用消失**
- ・町内唯一の高校が統廃合により平成25年に閉校 →**人口減少**が深刻化

 **逆境を跳ね返すために**

- ・工場跡地を活用し、**リチウムイオン電池**の研究開発拠点を整備
- ・自然・文化と最先端科学が融合するまちを目指して、リチウムイオン電池を軸とした産学金連携プロジェクト「**飯豊電池バレー構想**」が始動



飯豊町起業支援施設

背景



これまでの
取組

飯豊電池バレー構想の概要

先人たちが大切に守り続けてきた素晴らしい自然や町並みを後世に残しつつ、農村の経済的自立を図るため、環境に配慮されたリチウムイオン電池を軸とした新たな産業の創出と集積を進める。

多様な主体との連携により「**ヒト・モノ・カネ・情報**」が集まる仕組みを創造。



▲電動モビリティシステム
専門職大学



▲飯豊町起業支援施設



▲飯豊町貸工場

人材育成



交流人口の拡大



雇用の創出

「人が集まるかどうかわからない」不安な将来から「人が集まる」状況へ
まちの活性化や町内商工業の賑わいを取り戻すことで、すべての町民生活の向上へ



現状の 課題

電動モビリティシステム専門職大学（通称：モビリティ大学）

- ・ 町が誘致し、**令和5年4月**に開学
- ・ 電気自動車と自動運転を4年間で集中して学び、研究を行う**世界初の大学**
- ・ 国内外の選りすぐりの教授陣による**手厚い教育**
- ・ 講義、実験、実習を通じて、**開発現場を支え牽引するエンジニアを養成**
- ・ 大学・県・町の三者による「**電動モビリティ地域共創コンソーシアム**」設立
→**目的**：大学と地域企業・住民の交流、人材育成、地域活性化、卒業生の地域内定着

課題

- (1) 大学及び町の**知名度・認知度の向上**
- (2) **学生確保・学生支援**
- (3) **地域住民と大学の交流**
- (4) **ものづくり人材育成・人材確保**



事業の 目的

事業の目的

- ・ 大学の認知度を向上させ、入学生の確保を図りたい
- ・ 経済的理由で大学進学を諦めないよう、学生を支援したい
- ・ 未来のものづくり人材確保・人材育成のため、地域の子どもを対象としたものづくりへのキャリア開発プロジェクトを実施したい



事業
内容4 質の高い教育を
みんなに7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに9 産業と技術革新の
基盤をつくろう11 住み続けられる
まちづくりを17 パートナースHIPで
目標を達成しよう

(1) 「EV奨学金（仮称）」制度の創設

- ・私学であるモビリティ大学は、国立大学に比べて学費が高い。
「EV奨学金（仮称）」制度創設により経済的支援を実施し、入学者確保を図る。
- ・卒業後、地域内もしくは寄附企業様への就職などを要件にし、返還支援を実施する…等の方法により、卒業生の地域内定着や寄附企業様への人材確保に貢献したい。
- ・電動モビリティ地域共創コンソーシアムに加盟する企業とともに、産学官金民連携してものづくりを学ぶ若者を地域全体で応援し、支援していきたい。



**若者の学びたい気持ちを応援し、即戦力となるエンジニアの育成を支援！
寄附企業様の人材確保を支援！**

(2) 子ども向け「ものづくりキャリア開発プロジェクト」

- ・対象 小学生・中学生・高校生
- ・会場 モビリティ大学
- ・運営 DMM.com等と連携して実施（予定）
- ・内容 自動運転などで活用されるAIプログラミングについて、年齢層に合わせて、楽しい体験学習プログラムを提供。
中・高校生には、ものづくりに関するキャリア教育も実施。



子どもたちにもものづくりの楽しさを伝えたい！



得られる
成果等

成果・解決される地域課題

- ・ものづくり人材の育成・人材確保
- ・次世代を担う子どもたちの将来の活躍



**現場で即戦力となる「ものづくり人材」の育成、
そして、将来の電気自動車・自動運転業界を牽引する
スペシャリストの育成に直接貢献することができます！**

寄附を
する
メリット
等

企業のメリット/企業との連携イメージ

1. 企業認知度アップ&企業イメージの向上（奨学金利用学生への積極的な周知など）
2. 企業が掲げるマテリアリティ・SDGsへの間接的な寄与
3. 寄附をきっかけとしたモビリティ大学との連携・共同研究
4. 電動モビリティ地域共創コンソーシアムへの加盟により、ものづくりの担い手の人材育成・人材確保を効果的に実施

問合せ先

山形県飯豊町 商工観光課 産業連携室

TEL : 0238-87-0569 (直通) Mail : i-sangyo@town.iide.yamagata.jp